

加工食品



滋賀県 (株)市川農場

『6次化商品をアメリカ、アジアへ』

【主な品目】

いちごバター、たまねぎドレッシング、たまねぎスープ

【主な輸出先国・地域】

米国(ニューヨーク、シカゴ)、香港、シンガポール

【輸出取組の概要】

- ◆ いちごバターのギフトセットをニューヨークへ(2019年8月)
- ◆ たまねぎドレッシングのラベルをリニューアル(2019年12月)
- ◆ いちごバターをシンガポールへ(2020年2月)

【輸出実績】(平成26年度より輸出開始)

| | 輸出額(万円) | 出荷時期 |
|--------|---------|------|
| 令和元年度 | 70 | 通年 |
| 平成30年度 | 40 | |
| 平成29年度 | 100 | |

【効果があった取組】

たまねぎドレッシングのラベルを英文化する等リニューアルし、他社商品への差別化を行った。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ いちごバターは常温30度までを流通目安にしているため、冷蔵便での輸送が必要
- ・ ドレッシングは日本国内のNBラベルのまま輸出していたので、海外での訴求が弱い
- ・ 令和元年7月以降香港におけるデモの影響で輸出が半年近く停滞

【生じた課題への対応】

- ・ 米国向けは冷蔵コンテナ便にて輸送し、シンガポール向けは空輸にて対応
- ・ 英文を入れたラベルにリニューアルし、海外の人にPR出来るよう対応
- ・ 香港におけるデモが鎮静化するのを待った

【対応の結果】

- ・ 冷蔵輸送・空輸のため品質も問題なく現地に配送できた
- ・ 英文を入れたことにより徐々に販売数が増えており、特にニューヨークはリニューアル前の倍の取引量となっている
- ・ デモの鎮静、コロナによる在宅食が増え、令和2年2月以降発注が回復

【今後の課題・展望】

- ・ いちごバターは海外でも一定の評価を得られると思われるが、物流面が課題
- ・ 商社担当者、現地のニーズを聞きながら輸出開始5年後にドレッシングラベルリニューアルという大きな展開が出来たため、今後伸ばしていきたい
- ・ 自社HPにも英文をいれ再構築したので、今後アピールしていきたい

【ウェブサイト】<http://ichikawa-farm.jp/>

【連絡先】 担当者名:市川健治 TEL:0749-35-2589



ニューヨークでの販売風景



英文を入れたりリニューアル後のドレッシングラベル